

とちぎ骨髄バンクを広める会

編集：尾内 繁夫 発行：高橋 謙

お問い合わせ先

事務局：〒327-0012 佐野市出流原町 736-6 新井 清

TEL 0283-25-0325

E-mail: kysarai@peach.ocn.ne.jp

募金・会費は、

郵便振替口座番号：00300-1-12677

加入者名義：とちぎ骨髄バンクを広める会

とちぎ骨髄バンクを広める会は、(財)日本社会福祉弘済会よりボランティア共済の補助を受けています。

とちぎ骨髄バンクを広める会
会報
平成15年05月15日 発行
第91号

ひとつの生命を救うために、
あなたが出来ること。
骨髄バンクにご登録ください。



<http://www.donorsnet.net>

目次

総会議事録

平成15年度 役員紹介 第一回

定例会(運営委員会)のご案内

平成15年度 総会 議事録

平成15年4月20日(日) 14:15 ~ 16:30

小山市生涯教育センター

参加者

高橋(謙)、松原、大美賀、尾内、高橋(悦)

五月女(ご夫婦)、塩浜、栗本、飯島、瓦井

新井(小山)、新井(佐野)

1. 代表挨拶 飯島
2. 議長・書記選出
議長:尾内 書記:新井清
3. 第1号議案 平成14年度活動報告
別紙
追加:3月26日 黒磯 大泉逸郎さんコンサート
4月 多田そうべいさん ふれあいコンサート
募金活動&ペンシルパルーン
6月2日 夕顔ボール(4人参加)
4. 第2号議案 平成14年度収支決算報告及び監査報告
別紙
5. 平成15年度役割分担
代表 高橋 謙
事務局長 新井 清
会計 福田 理恵
以上、承認された。

以下の役員について、代表より提案
代表補佐 松原有紀
監事 瓦井、篠崎
顧問 飯島、栗本

* 代表補佐は複数いた方が良い(飯島 提案)
・平成14年度まで県北、県央等担当してもらえよう依頼していた。
但し、実質活動はできていなかったため実務に合った形でひとりでも良い。(栗本)
・規約のなかに役員の取り決めがあったはずだが、それがどうなっていたか(五月女)
・第6条に「代表補佐 若干名」とある。
* 規約第6条の「専門部」は「顧問」に変更したい。(高橋)

- * 規約第6条の「専門部」を削除することを提案。(栗本)
・満場一致で承認。
- * 運営委員を選任し、その中で会報担当等を役割分担したらどうか(栗本)
・第5号議案「役割分担について(案)」を「役員選任」にしてその中で役割分担したらどうか(飯島)
・それで良い(高橋)
・第5号議案「役割分担について(案)」は「役員選任(案)」にして三役にとどめる。(議長)
・運営委員については、参加者を運営委員として活動していい(飯島)
・運営委員は規約に残すべき(会計が規約にない)。その中で会計や会報などの役割を分担したらどうか(五月女)
・サポートハウスも運営委員の中に入れて欲しい(松原)
・運営委員会を残すことを「満場一致」で承認。
・運営委員を「代表(代表補佐・事務局長を入れるかは代表判断)が必要と認めた人数を設置できる」と改定する。
・第6条に「会計 若干名」を追加する。
- * 役割分担について
・会報編集・印刷 尾内
・会報発送業務 喜吉、松原、新井(喜)、栗本
・サポートハウス 松原
以上、承認される。
- 6. 平成15年度活動方針・事業計画(案) 高橋
別紙
* 県民の集いは参加者が少ないので、別の活動を考えたい(飯島)
・考え方として患者さんに焦点を絞る。又は、関係機関や団体を動員する。(栗本)
・今後、運営委員会の中で揉んでいくということでどうでしょうか(議長)
以上、満場一致で承認される。
- 7. 平成15年度予算(案) 高橋
別紙
* 要望:規約に「サポートハウス支援する」を入れることを今後、運営委員会で検討する(五月女)
- 8. その他
* 役員交代に伴い、現在の代表補佐3名(県南、県央、県北)及び鹿沼支部を廃止する。

以上 全て敬称略

平成15年度 活動基本方針

無理せず楽しく 真剣に！

1、栃木県民の方に骨髄移植、骨髄バンクについて正しい知識を提供する。
普及啓発のための講演会を実施する。
参加要請に応じ講師を派遣する。
各種行事に参加して骨髄バンクの周知活動をする。
栃木県内企業への協力呼びかけの実施する。

2、患者、家族の支援活動。
患者家族滞在施設「サポートハウス小山」の維持管理と円滑な運営。

3、骨髄提供希望者登録推進活動。
ドナー登録会に説明員の派遣する。
・登録説明員の増員を図る教育活動。
・説明員のレベルの向上。

4、組織の活性化。

定期的な例会の場を作り意見交換、活動企画等を行う。
定期的に会報を発送して報告、連絡を図る。
地区普及広報委員を各地区に配置して活動の分担化を図る。

5、関係機関・組織との連携・協力

骨髄バンク事業の普及啓発と骨髄ドナー登録推進のため、骨髄移植推進財団、全国骨髄バンク推進連絡協議会、栃木県、栃木県赤十字血液センター(骨髄データセンター)、および、骨髄バンクの主旨に賛同する団体等と連携を図り、協力して活動を展開する。 代表 高橋 譲

事務局
新井
清



今回、事務局を担当させていただくことになりました新井 清(42歳)です。私達の望みは、「全ての患者さんに平等に移植の機会があること」です。そのために何をすれば良いかを考えながら活動できるよう努力したいと思っています。しかし、何分、力不足ですので、会員の皆さんのサポートをいただきながら会の運営に当たりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

私がバンク活動を始めたきっかけは、同僚のお子さんが白血病を発病されて、有志で「救う会」を作ったところからで、広める会には発足当初よりお世話になっています。活動も仲間あつての活動だと思いますので、皆で情報を共有して、皆で作りに上げる活動にできたらと思います。そうすれば、きっと充実した楽しい活動になるでしょう。気軽に参加して下さい。お待ちしております。

平成15年度 役員 紹介 (第一回)

顧問 栗本 孝雄



とちぎ骨髄バンクを広める会は、1993年の6月19日に自治医科大学で開催された「骨髄バンク支援栃木シンポジウム」の参加者有志を会員に、同日発足しました。発会式5分前に世話人の医師が「まだ代表が決まいません。とりあえずお願いします」と私に耳打ちしました。意味を理解し考えたところで、開会まであと3分。初代栗本代表はそんな風に決まったのです。微生物学の研究と教育を仕事としていた大学を辞めて、社会福祉の分野に転職した直後のことでした。会の代表と事務局を務めた10年は、私がソーシャルワーカーに育っていく過程に大変大きな影響 = 重要かつ有用な出会い、学びの機会を提供してくれたと思っています。新事務局長に引き継ぐにあたり、10年付き合ってきた口髭も剃ってみました。今後もイベント等の現場要員・一会員として活動に参加していきますので、引き続きよろしく願いいたします。

平成15年度予算(案)

収入の部

科目	金額	備考
会費	160,000	2,000円×80名
雑収入	350,000	寄付、助成金
繰越金	1,893,878	前年度より
合計	2,403,878	

支出の部

科目	金額	備考
分担金	120,000	全国協議会年会費
会議費	35,000	全国協議会、ファミリーハウス会議
事務費	150,000	FAX、事務消耗品
事業費	680,000	県民の集い、借り上げ家賃など
通信費	300,000	会報の発行、発送
交通費	45,000	全国協議会会議交通費
登録対策費	60,000	登録会食事代
普及啓発費	0	
予備費	1,013,878	
合計	2,403,878	

代表
高橋
譲



広める会会員の皆様、平成14年度定期総会におきまして本年度代表になりました。経験、知識が乏しく皆様にご迷惑をお掛けする事も多々あると思いますが前任者築いた体制を生かし今後の活動に反映させて行きたいと思えます。会員のみなさまのご協力をお願いします。

簡単に私の紹介をさせていただきます。

1993年骨髄バンク紹介栃木県内2例目の骨髄提供者となりました。その後広める会主催のシンポジウム(小山市)に一般で参加し、配布された資料の中に中堀由紀子さんの私記に心を動かされました。その後、テレビCMで涙を浮かべた目をクローズUPし、無言の15秒の骨髄バンク広報を見た時「この人が中堀由紀子さん、享年22歳！」……前向きに生きていたと思っていました。……これが私のボランティアへの参加切っ掛けです。そして自分の提供時の体験を話すことが自分に出来るボランティアと悟り現在に至って折ります。

さて、私たちの活動も啓蒙活動、登録活動と忙しい会員のご負担も増大しております。みなさまのご参加をお待ちしております。また、行政関係者、血液センター(日赤)との連携も更に深め活動して行きたいと思えます。以上、宜しくお願いします。

お知らせ

本年、第1回目の定例会を下記により開催したいと思えます。参加は自由です。お友達(非会員)と一緒に、大歓迎です。どなたでも参加できます。参加をお待ちしております。会場に付きましては別紙をご参照下さい。

日時
場所
議題

平成15年5月28日(水)19時~1時間程度
石橋総合病院 2階会議室
今後の定例会の開催について(曜日、時間等)
県民の集いについて
今年のシンポジウムについて
その他、今年の活動について